

第24期（令和4年11月～令和7年10月）

運営理念

連携・変革・共創による地域経済の未来創生
～日本・世界で最も魅力的な地域創造への挑戦～

基本方針

- 新たな価値創造に立脚した課題解決により、企業と地域の持続的成長を支える
- 組織や分野の枠組みを越えて、環境変化に適応したイノベーションを起こし、地域経済の活力向上に繋げる
- 東三河経済圏の活性化と豊橋の産業発展が表裏一体との認識に立ち、事業運営に広域連携の牽引役としての視座を持つ

令和6年度 重点テーマ／背景・課題感

停滞から成長への脱却

- 企業の売上は、コロナ禍前まで回復しているが、不安定な国際情勢や原油・原材料・食品価格高、円安等による物価高騰が収益を圧迫。
- 中小企業の多くは、人材確保のため、業績改善が伴わない防衛的な賃上げを余儀なくされている。
- デフレ経済やコロナ禍などの停滞から脱却し、経済の好循環を実現するためには、付加価値向上による実質賃金の上昇、投資・消費の拡大が必要。
- 中小企業においては、持続的賃上げや活発な投資の原資を確保する取引適正化やデジタル活用による生産性向上、新たな販路拡大が求められている。

人材確保・生産性向上

- 経済活動正常化を受け、労働力の需要増に供給が追いつかず、人材確保難による受注抑制や生産停滞が発生。
- 高齢者や女性、外国人等を含めた人材の確保を後押しするほか、家庭と仕事の両立を図る働き方改革の推進、労働生産性向上のためのリスクリングが求められている。
- 限られた人的リソースを付加価値の高い業務に集中配置するため、デジタル技術導入や設備投資を進め、業務効率化や生産性向上を図る必要がある。

事業承継・創業起業

- 地域経済の活力強化には、事業継続や創業起業を支え、魅力的な雇用の創出、産業集積の維持発展が不可欠。
- 「事業承継ひろば」や「創業プラットフォーム」を枠組みとした体制強化により、事業承継・創業起業ともに相談件数が大きく増加し、事例・ノウハウが蓄積。
- 支援ニーズの掘り起こしとともに、M&Aや創業者とのマッチングなど、多様な事業承継への対応、先輩経営者や専門家を活用したきめ細かな創業起業支援が必要。

産業構造変革（GX・DX）への対応

- 国際社会全体がカーボンニュートラル実現に向けた本格的な対応を加速化。地域企業が、脱炭素経営にシフトし、事業基盤や競争力の強化を図り、持続的な成長に繋げるための具体的な取り組みに着手する必要がある。
- デジタル技術を活用し、既存のビジネスや経営戦略を大きく見直し、人材や設備などのリソース全体の再編成が不可欠。さらに、地域全体でのDX対応を図り、デジタル基盤の強化や専門人材の育成などに取り組むべき。

産学官連携

- 地域の強みやリソースを最大限に有効活用し、地域社会や企業活動においてイノベーションを起こし、課題解決を図るため、産学官が組織の枠組みを越えて有機的に連携することが必要。
- とりわけ新規ビジネス創造やスタートアップ創出、革新的技術の社会実装には、人と人、技術と企業、課題と解決を繋ぐ、双方向主義と現場主義を融合させたコーディネート機能が不可欠。

地域づくり・まちづくり

- 多様な主体がコミットして策定した「豊橋まちなか未来ビジョン」実現に向けたアクションプログラムの実践。
- 産業構造の変化や地域産業の未来を見据え、新たな視点・発想を反映した、次期三河港港湾計画の実現。
- 移住者を呼び込む、スタートアップ支援や子育て、学び直し、職業紹介など、魅力的な環境づくり。
- 名豊道路全通や新アリーナ整備による交流人口拡大を見据えた、観光まちづくりやMICE戦略の取り組みが必要。

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和6年1月末実績

一中小企業支援一

- ・巡回・窓口相談 / 1,952件
- ・マル経融資 / 9件、5,960万円
- ・創業支援 / 相談件数 210件、新規創業者数 8件
- ・事業承継相談 / 26件
- ・BSC専門家派遣 / 84件
- ・各種補助金申請支援 / 118社、採択率 65%
- ・パートナーシップ構築宣言 / 市内宣言事業所数 108社、増加件数 47社
- ・“地域の絆”情報交換・商談会 / 申込 226社、参加 194社、商談 370件

一人材確保・育成・生産性向上一

- ・合同企業説明会等 / 6回開催、企業 302社、学生数 303名
- ・無料職業紹介所 / 新規求職登録者数 82名、紹介件数 59名、採用人数 22名
- ・モグジョブ（オンライン含む） / 開催数 9回、参加事業所数 26社、参加学生数 55名
- ・とよはし健康宣言事業所数 / 170件
- ・IT導入支援 / 16件
- ・セミナー・講習会 / 26講座、578名
- ・パソコン教室 / のべ受講回数 14,099回、のべ受講者数 2,561名
- ・ビジネスパーク（春・秋） / 講師数 2,841名、派遣校 21校、参加生徒 3,289名

I. 中小企業の自己変革支援と地域経済の活力強化

【主な取り組み・達成目標】

《事業の柱①》 課題克服と持続的成長に挑戦する中小企業への伴走支援

1) 環境変化を克服する課題解決支援

- ① 売上拡大や資金繰り改善を図る経営相談の対応強化（販路拡大、事業再構築等）
- ② 取引適正化の推進に向けた「パートナーシップ構築宣言」の普及啓発
- ③ 地域の絆 情報交換・商談会など、ビジネスマッチングによる販路開拓・取引拡大支援

2) 成長力を強化する付加価値創出・拡大支援

- ① M&Aや創業者とのマッチングなど、多様な事業承継による価値あるビジネスの引継ぎ支援
- ② 経営者や専門家のメンタリング、創業塾等を通じた創業者・スタートアップ支援
- ③ 新たな市場獲得を目指した越境ECなど、海外展開支援の取り組み強化

- 挑戦を後押しする伴走型支援の推進
 - 補助金申請支援（事業再構築、持続化、もの補助等）：130件、目標採択率：70%以上
 - 事業承継・事業引継ぎ相談：60件
 - 創業相談：300件
 - 海外展開相談：25件
 - 地域の絆 情報交換・商談会：商談数 400件
- 「パートナーシップ構築宣言」の普及啓発
 - 宣言事業所増加件数：100件
- 賃上げ促進税制や業務改善助成金等の活用PR
- 日本商工会議所などのプログラムを活用した海外向けテストマーケティングの実践

《事業の柱②》 人材確保・育成と省力化・生産性向上

1) 人材の確保・活躍促進支援

- ① 学生就職情報センターやモグジョブによる新卒人材の採用支援の推進
- ② 移住人材や潜在労働人口をターゲットとしたキャリア人材の採用支援の強化
- ③ 事業成長や新事業展開に向けた、副業・兼業人材の活用推進
- ④ 高齢者や女性、外国人、障がい者の活躍促進と多様で柔軟な働き方改革の推進

2) 人材の育成・雇用安定支援

- ① 事業創造や技術革新に対応できる産業人材育成に向けたリスクリング推進環境の整備と事業者へのプログラム開発・推進支援
- ② ビジネス変革への対応を意識したセミナー・講習会やスキルアップ講座等の展開
- ③ ビジネスパーク事業による地域と企業の将来を担う人材の育成

3) 労働供給抑制時代に打ち勝つデジタル実装支援

- ① ITベンダー企業や専門家と連携した生産性向上に繋がるIT導入の後押し
- ② 生成AIなど最新デジタルツールのビジネス実装事例の発信

- 大学等に進学した地元高校卒業生の学生就職情報センターへの登録促進
- 無料職業紹介所における求人検索サイト活用によるキャリア人材のマッチング促進
 - 求職者新規登録人数：100名
 - 紹介／採用件数：80件／30件
- 兼業・副業、育休促進など、多様で柔軟な働き方を経営に活かす事例・ノウハウの発信
- 新たな在留資格制度発足後の外国人の活躍促進に向けた情報発信と外国人に選ばれる地域・企業のあり方の検討
- IT導入サポートデスクやIT推進委員会を通じた生産性向上、販路拡大等に関する課題解決・IT導入事例による取り組みの後押し
 - 相談支援件数：30件
 - 各種デジタルツールやソリューションの紹介イベントの開催

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和6年1月末実績

一産業振興一

- 東三河産業創出協議会／ものづくり支援コーディネーターを通じた技術課題解決、東三河ものづくり大賞の審査・表彰、ものづくり博企画検討など
- プレミアム付電子商品券事業／登録店舗数 1,107件
- ええじゃないか豊橋まつり開催
- 第28回炎の祭典～霜月炎の舞～／観覧者数 2,349人、ツアーバスでの来場 49台（2日間）

一調査事業一

- 景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査

一政策提言・要望活動一

- 浜松湖西豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、名浜道路等の整備促進
- 三河港の整備促進、次期港湾計画改訂への提言
- 設楽ダム建設促進
- 豊橋市との政策懇談会の開催
- 豊橋市議会との意見交換会の開催
- 愛知県商工会議所連合会（三河ブロック）と中部地方整備局の意見交換会の開催

I. 中小企業の自己変革支援と地域経済の活力強化

《事業の柱③》 地域の強みを活かした産業形成・産業振興

1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携

- 東三河スタートアップ推進協議会やステーションAiを通じたスタートアップの創出支援や地域外からの呼び込み
- 東三河産業創出協議会を軸とした新事業創造・マッチングの支援
- 東三河産学官金連携形成委員会をプラットフォームとした研究シーズの社会実装推進やものづくり企業の課題解決支援
- 県下商工会議所や産業支援機関等の主催による広域的なマッチングイベントを通じた販路開拓・取引拡大支援

2) 商業・サービス業振興

- 豊橋市などとの連携によるプレミアム付電子商品券「TOYOPay」を活用した事業者支援と域内消費拡大の展開
- 業種・業界の枠組みを越えたテストマーケティングの展開

3) ものづくり振興

- ものづくり博2024in東三河の開催
- サプライヤー企業の成長を促す技術提案型の商談会の実施

4) 観光・コンベンション振興

- 旅行者ニーズを捉えた炎の祭典の開催
- 交流人口拡大による消費や投資を呼び込むMICE戦略の取り組み

【主な取り組み・達成目標】

- Startup GarageやCLUE、emCAMPUSなどと連携したスタートアップの創出や地域中小企業のイノベーションの促進
- ものづくり支援コーディネーターによる技術課題の掘り起しと大学等の研究シーズとのマッチング
 - コーディネート支援件数：20件
- 三遠南信や愛知県、東三河など広域ネットワークを活かした販路開拓、取引拡大など多様なビジネスチャンスにつながる各種マッチングの展開
 - 商談・マッチング件数：80件
- 「TOYOPay」登録店舗数の拡充
 - 目標登録店舗数：1,500件
- 東三河のものづくり産業の強みや魅力を発信するとともに、次世代のものづくり人材の育成支援を目指した「ものづくり博」の開催
 - 目標来場者数：20,000名（2日間）

II. 共創を軸に置いた魅力ある地域づくり

《事業の柱④》 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望

- 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
- 激変する社会課題や経営環境の多様化・高度化に対応したタイムリーで実効的な要望提言の実施

2) 実現性強化と成果の見える化

- 課題解決や戦略共有に向けた行政機関、議会関係者、各種経済団体・支援機関等との対話強化
- 活動成果の地域・会員へのフィードバック

【主な取り組み・達成目標】

- 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実及び回答率向上
- 積極的な提言・要望活動の推進
 - 経済対策・中小企業対策・税制・規制緩和
 - 社会資本整備強靱化・防災・地域DX・まちづくり
 - 移住定住促進に向けた教育・子育て・就労・居住・公共交通などの生活環境改善

【取り組みの現状】

※下線の数値は令和6年1月末実績

一広域連携による地域づくり

- 東三河広域経済連合会／全体会議・経済フォーラム開催
- 東三河スタートアップ推進協議会への参画
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議／ビジョン推進、三遠南信サミット2023in遠州の開催

一中心市街地活性化一

- 豊橋まちなか活性化センター／賑わい創出イベントの開催、駅前大通での実証実験への協力
- 豊橋まちなか未来会議への参画・ビジョン推進

一会員サービス・基盤強化一

- 創立130周年記念事業／記念式典、記念講演、会員拡大、会館デジタル化（3階ホール、502・503会議室）など
- 会員数／5,453会員（新入会員数468件）
- 生命共済制度／加入事業所数 882社・口数 6,435口
- 定期健康診断／利用事業所数：47社、受診者数：183名
- 労働保険事務委託事業所数／323社
- 公式ブログ・SNSによる情報発信／投稿記事数 424回・SNS総フォロワー数 4,750
- 会館運営の見直し／WEB予約システム導入

II.共創を軸に置いた魅力ある地域づくり

《事業の柱⑤》 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 多様な連携による共創型プロジェクトの推進

- 移住・定住の促進、森林資源の循環利用などをテーマとした、愛知県東三河総局や東三河8市町村、東三河広域連合との連携事業の展開
- 包括連携協定に基づいて豊橋技術科学大学と展開する社内ベンチャー・起業家育成、課題解決型プログラムの展開、中小企業の技術力・開発力の向上の取り組み強化
- 観光地域づくり候補法人（地域連携DMO）として登録された（一社）ほの国東三河観光ビューローへの参画

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

- 都心居住増や新アリーナ整備を踏まえた中心市街地・公共交通・公共駐車場等の魅力創造
- 2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素経営の普及啓発
- 背後圏の産業構造変化や地域エネルギー政策、港湾間ネットワーク形成、官民一体の運営体制を反映した次期三河港港湾計画の策定実現
- 二川・湖西地区県境域における渋滞解消、広域防災対策への取り組み

【主な取り組み・達成目標】

- 東三河ビジョン協議会の「移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大」や「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」への積極的な参画
- ほの国東三河観光ビューローへの参画を通じたインバウンド誘客と観光消費の拡大
- 中心市街地の将来像実現とアクションの展開
 - 「豊橋まちなか未来ビジョン」実現への協働
 - 駅前大通の実証実験を踏まえた街路整備促進
- 脱炭素経営セミナーの開催及び日本商工会議所のCO₂チェックシートや環境省の算定ツールなどの活用による排出量等の見える化
 - 見える化ツール活用件数：100件
- 豊橋湖西県境地域企業懇話会を通じた道路改良に関する要望活動の展開

III.企業と地域を支える組織基盤の強化

《事業の柱⑥》 商工会議所の組織基盤・ブランド力強化

1) 組織・財務基盤の強化

- 会員満足向上に繋がる魅力的なサービスメニューの構築
- 課題・ニーズの把握、繋がり強化を目的とした会員訪問の推進
- プレスリリース、会報誌、HP、SNS、メールマガジン、公式ブログ等を活用した発信力強化・認知度向上
- ビジネス創造に繋がる進出企業と中小・中堅企業との交流機会の創出
- 財政基盤強化（ビル運営・貸会議室、各種保険・共済制度など）

2) 運営体制の充実・強化

- 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
- 魅力ある地域創造に意欲を持つ会員の参画の場づくり
- デジタル活用等による事業・業務運営の生産性向上
- 日商等の研修機会を通じた事務局職員の資質・能力や経営指導員の支援力の向上

【主な取り組み・達成目標】

- 会員サービス委員会を通じ、利用メニューの見直しを図り、会員拡大を推進
 - 会員加入促進：新入会員 250件
 - 収納サービス及びコンビ二納付の導入による会費納入の利便性向上
- 会員訪問や部会活動等を通じた接触機会拡充
 - 会員訪問件数：1,000会員
- 事業所の福利厚生や事業創造などに繋がる会員サービス事業のプロモーション強化
 - 「生命共済制度」、「ビジネス総合保険」、「業務災害補償プラン」等の加入促進
 - 3階ホールや502・503会議室の利用促進